

“小さな問題”ではない！

桜を見る会の実態を明らかに

SPに守られて満面の笑みで支持者のところに駆け寄る姿をまたかというほど見せられた。

安倍首相主催の「桜を見る会」ニュース冒頭の場面です。この集まりは、安倍晋三後援会による招待会の一場面かと思わずにはいられません。

桜を見る会の多々ある問題のなかで詐欺まがい商法のジャパンライフ元会長との関係が注目されます。多くの国民に被害を与えたにも関わらず招待されており、安倍首相は元会長との関連を否定し、調査するつもりはないと強引に幕引きを図ろうとしています。

また桜を見る会には多額の税金が使われているにもかかわらず、目的や内容を明らかにしていません。毎度のことながら、安倍政権の隠蔽とごまかしは国民に多くの疑念と失望をもたらしています。

その結果、最新の世論調査では安倍政権の説明に納得しない、不十分との結果がどの調査でも70～80%台と出ています。さらに内閣支持率は大きく下がり、不支持が支持を上回った調査も出てきました。私たちはこの政権の本質である国民を無視し、また軽視する姿を決して見過ごすことはできません。これまでも自衛隊日報問題、森友・加計問題、老後資金2000万円など数えきれずあり

政権の不都合な事実は隠す、黒塗りする、廃棄してしまう、データを消去など、私たちの権利を無視して大切なものを闇に葬ってきました。その背後には「身の丈」発言のように主権者たる国民を見下す意識があると思います。これが民主主義の国の政治でしょうか。

公文書は国民のもの



政治はいうまでもなく選挙によって国民から選ばれた議員が中心となり行われます。が、最も大切なことはその政治が透明性をもって行われることではないでしょうか。従って政治の中味は常に主権者・国民の前に明らかでなければなりません。また、私たち主権者の求めに応じ原則として全てが公開されるのが真の民主主義であるといえます。いま

悲しいことですが、この政権が続く限りこの主張を繰り返さなければなりません。

私たちには主権者である国民のための政治を取り戻すことが求められています。

政治には緊張感が大切です。

与党と拮抗するよう野党は一つとなって野党としての役割を担っていくことが大切です。それには国民の応援する大きな声が必要です。

新年となり新成人を迎える時です。今年も一層の努力を皆さんとともにしましょう。

公開は民主主義の基本です。



手遅れにならないうちに

スピラー ゆうこ



桜を見る会に関する問題はパンドラの箱と化し、総理の有権者買収や詐欺ビジネスへの加担疑惑も飛び出してきました。

桜騒動の陰で日米貿易協定案が可決されました。ISD条項は経済主権の放棄・国家主権の侵害につながり、*1ラチェット条項で後戻りできなくなると言われています。米国の民間シンクタンクCSISは日本の国会より上に位置しており小泉Jr.は工作員として種子法廃止に貢献しました。安倍総理も属する日本会議は、教育基本法改定を憲法改悪への布石とし、現行憲法に緊

急事態条項を追加、独裁体制を完成させようと企んでいます。公平であるべき収税は、お仲間優遇でその他は冷遇。福利もお仲間に分配、その他大勢の国民には届かずが現状です。庶民の生活そのものの教育・健康・命・人権より利権が優先されています。官僚も検察も司法も安倍政権の配下にあります。一刻も早くこの腐りきった非道な売国政権を倒し、真つ当な政治を取り戻さなくては！手遅れにならないうちに！



※1 ラチェット条項：自由化不可逆条項。交渉で決まったことを修正不可能にする条項。
※2 シンクタンク CSIS：米戦略国際問題研究所。新保守主義の牙城と言われる。